

奥州市都市計画マスタープランの検証に係る
市民アンケート調査結果報告書

令和4年3月

奥州市都市整備部都市計画課

目次

1	調査概要	1
2	回答者の属性	2
3	アンケート調査の内容と結果	4
(1)	設問1 都市計画マスタープランの認知度について	4
(2)	設問2 都市計画マスタープランの進捗による居住環境の改善について	6
(3)	設問3 奥州市のコンパクトシティの進捗について	8
(4)	設問4 都市計画マスタープランに基づき実施してきた取組に対する評価	10
①	土地利用	10
②	賑わいづくり	12
③	バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	14
④	道路・交通システム	15
⑤	自然環境の保全及び活用、景観形成、公園緑地の整備	18
⑥	住宅・宅地の供給、生活基盤施設の整備	20
(5)	設問5 都市防災の強化のための取組について	22
(6)	設問6 市民・事業者・行政の協働による施策の展開について	24
(7)	設問7 奥州市に住み続けたいか	26
(8)	設問8 都市計画・まちづくりについての意見等（自由記載）	29

【都市計画マスタープラン】

都市計画法（昭和43年法律第100号）第18条の2に規定する「市町村の都市計画に関する基本的な方針」をいう。

長期的な視点から都市及び地域のあるべき姿をより具体的に示すとともに、土地利用、都市基盤整備の方針及びそれを実現するための方策等を示しており、市が実施する社会基盤施設整備や土地利用規制等は、当該計画に即して行われる。

なお、現在の計画期間は、策定（2010年（平成22年））から20年後の2030年（令和12年）となっている。

1 調査概要

(1) 目的

都市計画法第 18 条の 2 の規定に基づく都市計画マスタープランを平成 22 年 3 月に策定してから 10 年が経過しました。この間、市が実施する土地利用計画やインフラ整備等はこのマスタープランに即して行われており、一定程度の進捗が見られたことから、これまでの取り組みと今後のまちづくりの意向等を把握するため、以下のとおり市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

■調査実施内容

調査期間	令和 3 年 5 月 25 日（火）から令和 3 年 6 月 30 日（水）まで
調査対象	令和 3 年 4 月 1 日現在で満 18 歳以上の市民 2,993 人*
調査方法	調査票郵送による配付・回収（返信用封筒を同封）
抽出方法	5 地域の人口比率を考慮したうえで住民基本台帳からの無作為抽出
回収状況	回答者 993 人 回答率 33.2%
主な設問	○都市計画マスタープランの認知度について ○奥州市のコンパクトシティの進捗について ○都市計画マスタープランに基づく取り組みに対する評価 ○都市防災の強化のための取組について ○市民・事業者・行政の協働による施策の展開について

注) 回収状況は、令和 3 年 7 月 30 日到着分までを有効回答とし、それ以降に到着した回答については、参考資料として取扱うこととしています。

※ 当初配付対象者は 3,000 人でしたが、「宛先不明」などにより 7 部が返却となっています。

■〈当初〉5 地域別調査票配付割合

	全体	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川
人口割合	100%	48.3%	24.0%	11.4%	12.9%	3.4%
配付数	3,000 票	1,449 票	721 票	341 票	388 票	101 票
配付割合	100%	48.3%	24.0%	11.4%	12.9%	3.4%

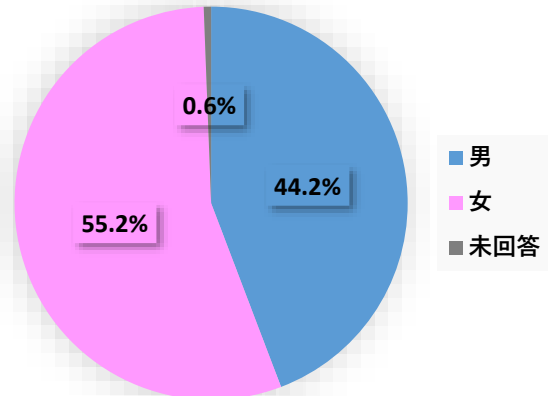
(2) 留意点

- ① 回答比率は、特に記載がない限り、当該アンケート回答者に対するその選択肢を選択した回答者数の割合です。小数点第 2 位を四捨五入していますので、合計が 100% とならない場合があります。また、複数選択の回答を求めた設問の場合、その回答比率の合計は 100% を超えることとなります。
- ② 図表に示している「n」は回答者数を示しています。

2 回答者の属性

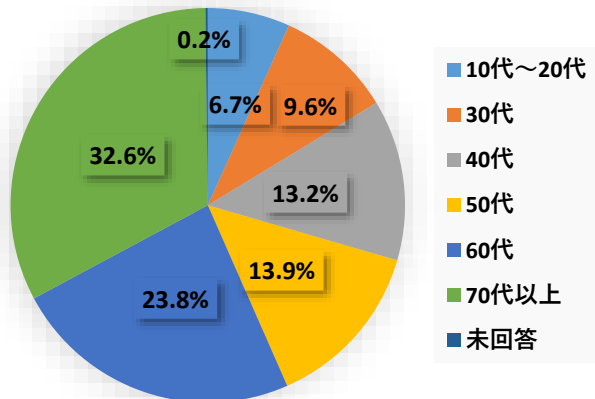
(1) 性別

性別	人数	割合
男	439	44.2%
女	548	55.2%
未回答	6	0.6%
合計	993	100.0%



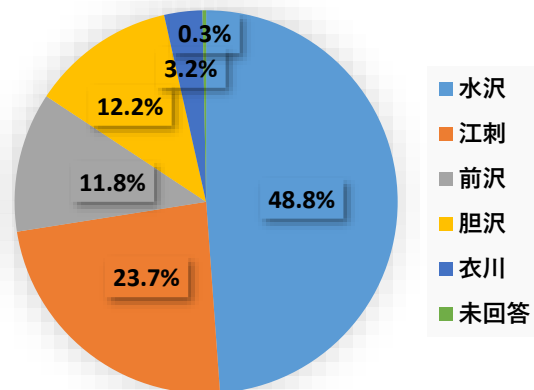
(2) 年齢

年齢	人数	割合
10代～20代	67	6.7%
30代	95	9.6%
40代	131	13.2%
50代	138	13.9%
60代	236	23.8%
70代以上	324	32.6%
未回答	2	0.2%
合計	993	100.0%



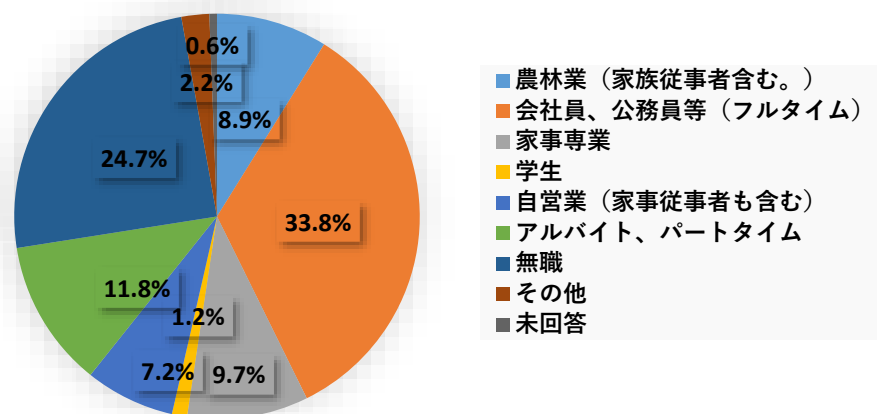
(3) 居住地

居住地	人数	割合
水沢	485	48.8%
江刺	235	23.7%
前沢	117	11.8%
胆沢	121	12.2%
衣川	32	3.2%
未回答	3	0.3%
合計	993	100.0%



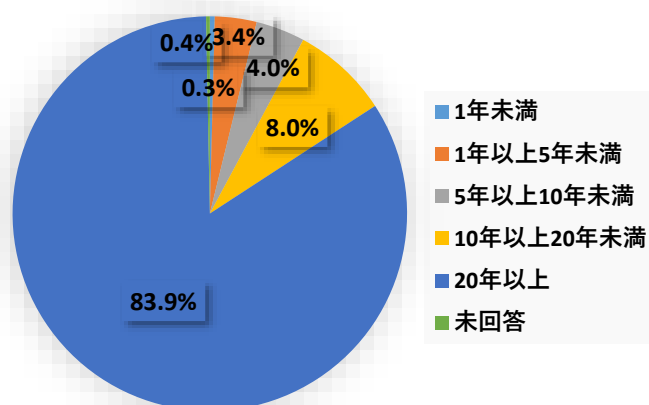
(4) 職業

職業	人数	割合
農林業（家族従事者含む。）	88	8.9%
会社員、公務員等（フルタイム）	336	33.8%
家事専業	96	9.7%
学生	12	1.2%
自営業（家事従事者も含む）	71	7.2%
アルバイト、パートタイム	117	11.8%
無職	245	24.7%
その他	22	2.2%
未回答	6	0.6%
合計	993	100.0%



(5) 奥州市の居住年数（合併前の旧市町村を含む）

居住年数	人数	割合
1年未満	4	0.4%
1年以上5年未満	34	3.4%
5年以上10年未満	40	4.0%
10年以上20年未満	79	8.0%
20年以上	833	83.9%
未回答	3	0.3%
合計	993	100.0%



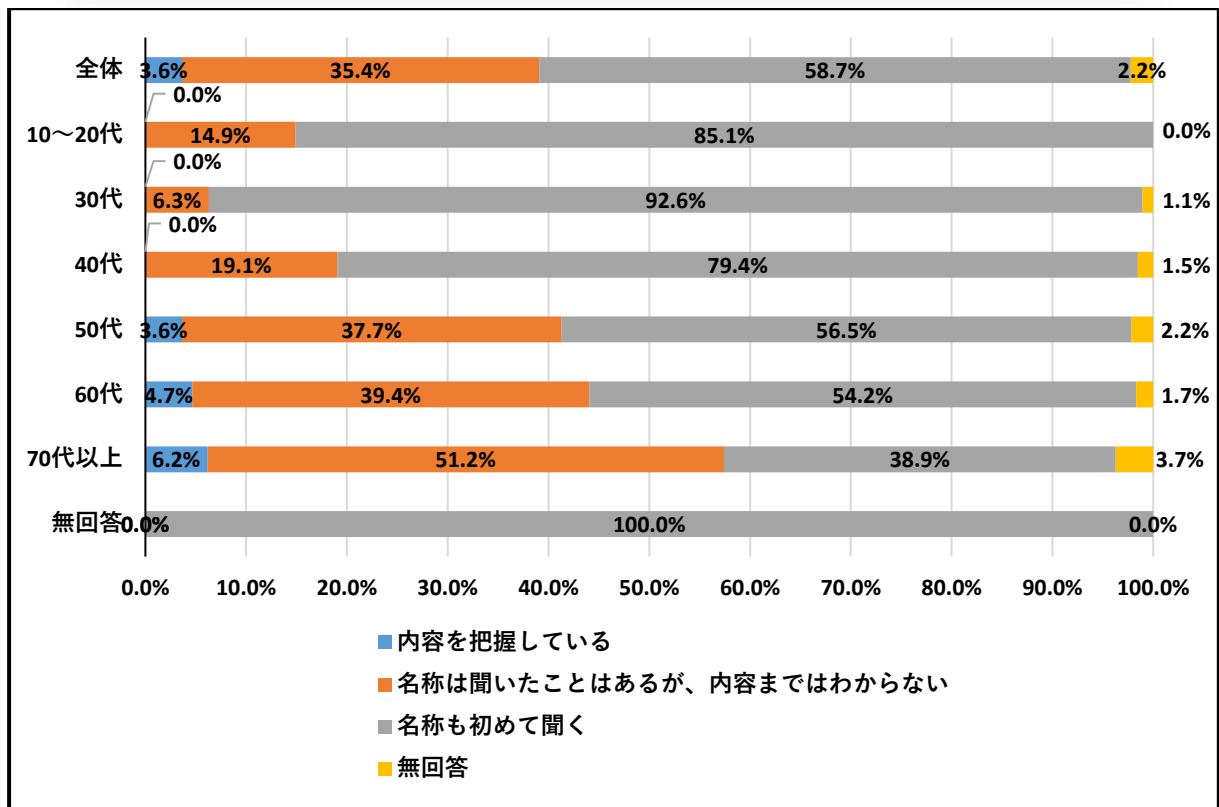
3 アンケート調査の内容と結果

(1) 設問1 都市計画マスタープランの認知度について

これまで「都市計画マスタープラン」をご存知でしたか？次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

()内はH19 調査結果

選択肢	全体	年代別回答						
		10~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
内容を把握している	36 (59)	0 (3)	0 (5)	0 (4)	5 (19)	11 (15)	20 (13)	0 (-)
	3.6% (2.2%)	0.0% (0.9%)	0.0% (1.3%)	0.0% (1.0%)	3.6% (3.5%)	4.7% (3.2%)	6.2% (2.7%)	0.0% (-)
名称は聞いたことはあるが、内容まではわからない	352 (970)	10 (40)	6 (93)	25 (126)	52 (221)	93 (250)	166 (236)	0 (-)
	35.4% (36.4%)	14.9% (11.5%)	6.3% (23.6%)	19.1% (30.1%)	37.7% (41.2%)	39.4% (53.5%)	51.2% (48.8%)	0.0% (-)
名称も初めて聞く	583 (1,502)	57 (297)	88 (289)	104 (277)	78 (270)	128 (178)	126 (182)	2 (-)
	58.7% (56.4%)	85.1% (85.6%)	92.6% (73.4%)	79.4% (66.3%)	56.5% (50.4%)	54.2% (38.1%)	38.9% (37.6%)	100.0% (-)
無回答	22 (123)	0 (6)	1 (6)	2 (10)	3 (24)	4 (21)	12 (50)	0 (-)
	2.2% (4.6%)	0.0% (1.7%)	1.1% (1.5%)	1.5% (2.4%)	2.2% (4.5%)	1.7% (4.5%)	3.7% (4.5%)	0.0% (-)
その他	- (11)	- (1)	- (1)	- (1)	- (2)	- (3)	- (3)	- (-)
	- (0.4%)	- (0.3%)	- (0.3%)	- (0.2%)	- (0.4%)	- (0.6%)	- (0.6%)	- (-)
合計	993 (2,665)	67 (347)	95 (394)	131 (418)	138 (536)	236 (467)	324 (484)	2 (19)



〈調査結果〉

都市計画マスタープランを策定（平成 22 年 3 月）してから 10 年以上が経過した現在の認知度については、「名称も初めて聞く」とした回答割合が多く、特に若年層にその傾向が見られました。

当市の都市計画マスタープランは、市民ワークショップやまちづくり懇談会等による住民参加の下で策定し、策定当時は市広報やホームページ等を通じて広く市民に周知していましたが、近年は積極的な発信をしていませんでした。

都市計画マスタープランは、中長期的な視点から都市及び地域のあるべき姿を明確にし、土地利用、都市基盤整備の方針及びそれを実現するための方策等を示しており、市が実施する社会基盤施設整備や土地利用規制等は、当該計画に即して行われており、まちづくり・都市計画を進めるうえで最も重要な計画であります。

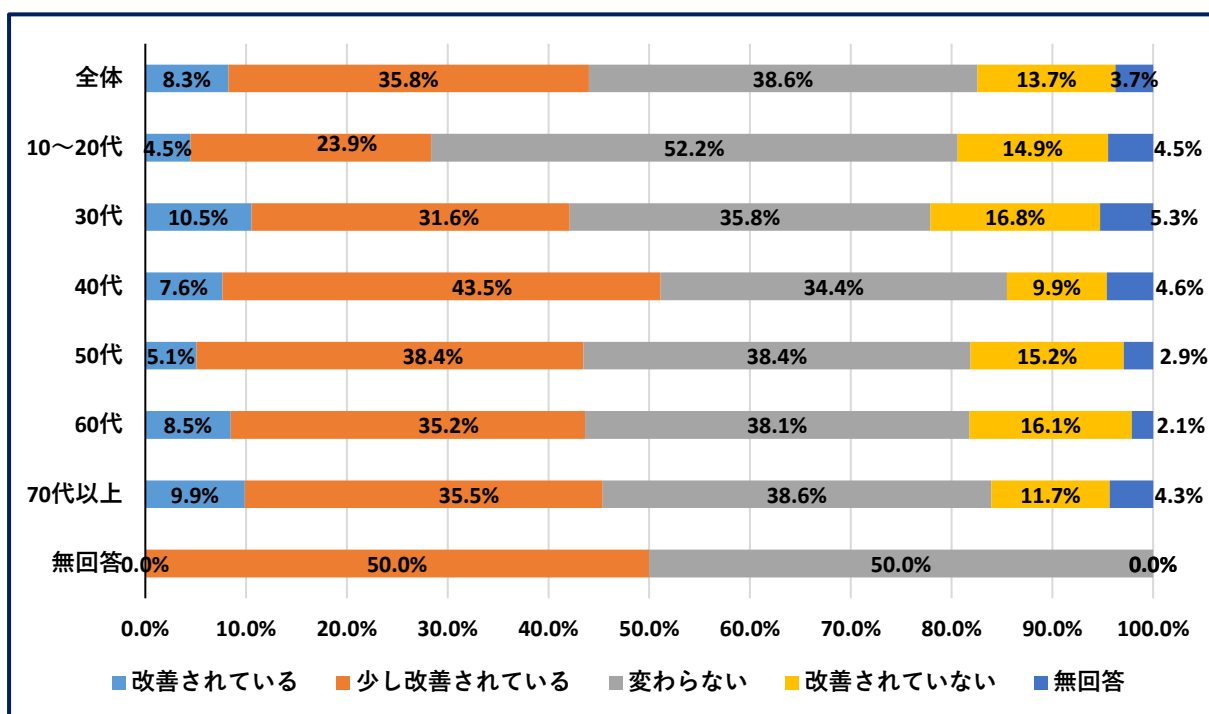
人口が減少に転じ、高齢者の急速な増加が見込まれる中では、コンパクトなまちづくりを形成することが重要となっており、都市計画マスタープランに掲げる「集約型都市構造＝コンパクトシティ」の実現を確実に進める必要があります。

これらの施策の進捗を市民の皆様が確認できるよう、広報等を活用しながら広く発信し、都市計画がより身近なものとなるよう「見える化」を進めます。

(2) 設問2 都市計画マスタープランの進捗による居住環境の改善について

10年前と比べ居住環境等は改善されていますか？次の中から最も近いものを1つ選んで番号に○を付け、下に理由を記載してください。

選択肢	全市	年代別回答数						
		10~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
改善されている	82	3	10	10	7	20	32	0
	8.3%	4.5%	10.5%	7.6%	5.1%	8.5%	9.9%	0.0%
少し改善されている	355	16	30	57	53	83	115	1
	35.8%	23.9%	31.6%	43.5%	38.4%	35.2%	35.5%	50.0%
変わらない	383	35	34	45	53	90	125	1
	38.6%	52.2%	35.8%	34.4%	38.4%	38.1%	38.6%	50.0%
改善されていない	136	10	16	13	21	38	38	0
	13.7%	14.9%	16.8%	9.9%	15.2%	16.1%	11.7%	0.0%
無回答	37	3	5	6	4	5	14	0
	3.7%	4.5%	5.3%	4.6%	2.9%	2.1%	4.3%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



〈調査結果〉

全年代を通して「改善された」が「改善されていない」を上回っており、都市計画マスタープランに基づくまちづくりの効果は一定程度見られる結果となりました。

しかし、「改善されていない」という回答もあることから、今後も市民意見を反映しながら都市計画マスタープランに基づき各種施策を展開していきます。

【選択した理由】 ※お寄せいただきました意見を抜粋しています

○ 〈改善されている〉〈少し改善されている〉理由

- ・施設のバリアフリー化が進み施設利用が楽になった。
- ・スマートインターチェンジや国道4号などの幹線道路が整備され、移動がスムーズになった。
- ・歩道が整備され、安全な通行ができるようになった。
- ・アクセスが改善され通勤時の渋滞が緩和された。
- ・上下水道の整備が進んでいる。
- ・商業施設などが増えたことにより生活しやすくなった。
- ・カフェや飲食店が増えてきているので出かける巾が広がった。
- ・生活環境が徐々に改善されてきている。

△ 〈変わらない〉理由【抜粋】

- ・もとから住みやすい環境だったので、特に何も感じていない。
- ・魅力的な店や施設もない。
- ・バイパスや接続道路の整備により車での移動がスムーズになった場所もありますが、不便になった場所もある。
- ・当市は広いのでバリアフリーとかスマートインターチェンジ等の新設及び改良等については、住民が等しく恩恵を受けることにならないため、もう少し小さい事でも結構なので身近でしかも多くの住民が喜ぶ住居環境の改善が望まれる。
- ・小児科、産科医が少ない。保育園、幼稚園、小学校の廃校、廃園が多く遠くまで通わないといけない。
- ・商業施設は増えてきていると思うが、公園や病院等は不便だったり遊具が使えなかったり改善が必要ではないかと思う。
- ・高齢者世帯が多くなり交通面が不便、バス停までの距離、バスの本数不足など。
- ・インフラの改修等が進んでおらず、住みづらい。

● 〈改善されていない〉理由【抜粋】

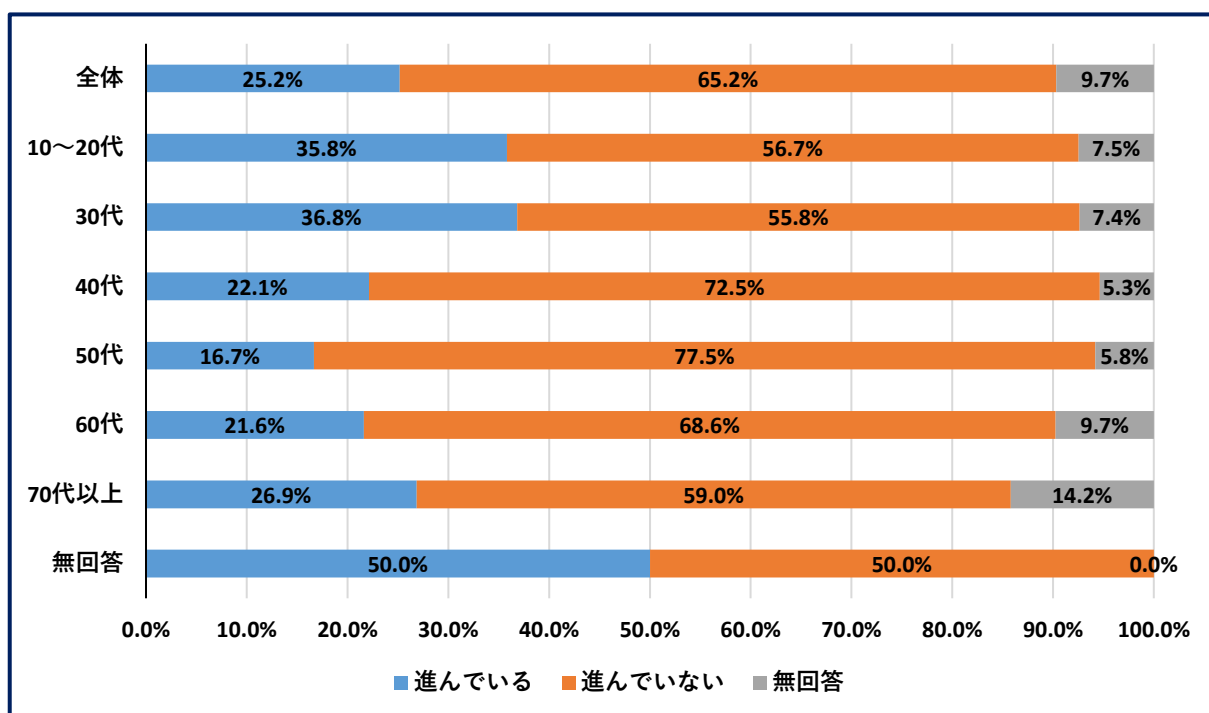
- ・身近な日常利用頻度の多い所が改善されず不要と思われるところへのテコ入れが目立つ。
- ・まちとしての魅力がない。出る人はいても来る人がいない。観光部門が弱い。
- ・保育所、小学校、中学校が合併するから。
- ・バスの本数が減っている。歩道の整備も進んでない。
- ・なんでも新設はするが維持管理がなっていない。
- ・道路は草だらけ公園もなく小さい子供達の遊ぶ場もない。
- ・全国チェーン店などは出店も多く買い物に不自由しないが、産婦人科が少なくリスクの高い出産ができない。空き家も多く劣化で被害が出ないか心配。
- ・全てにおいて市の対応が遅い。インフラの改修等が進んでおらず、住みづらい。
- ・人口減少、高齢化は当たり前のことで、その対策この先の施策が見えず旧市街地の活性化、全体的な空き家問題などもっともっと市民も自分事として取り組んでいく必要がある。
- ・国道4号などは整備されて良いが、住宅地の道路は改良されず狭い。
- ・高齢化が進み農地、山などが荒れて来た。野生動物が増えている。
- ・下水道は20年以上前からあるのに上水道が通っていない。
- ・空き家問題が改善しておらず増加傾向に、具体的な取り組みが見られない。

(3) 設問3 奥州市のコンパクトシティの進捗について

設問3-1

都市計画マスタープランでは、既存市街地外における無秩序な市街地化の抑制と公共公益施設の郊外移転や都市機能の拡散立地を制限し、拠点への都市機能の誘導を図り、多様な都市機能がコンパクトに集積した「集約型都市構造（コンパクトシティ）」を進めることとしています。本市において、コンパクトシティは進んでいると思いますか？次の中から1つ選んで番号に○を付けてください。

選択肢	全市	年代別回答数						
		10~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
進んでいる	250	24	35	29	23	51	87	1
	25.2%	35.8%	36.8%	22.1%	16.7%	21.6%	26.9%	50.0%
進んでいない	647	38	53	95	107	162	191	1
	65.2%	56.7%	55.8%	72.5%	77.5%	68.6%	59.0%	50.0%
無回答	96	5	7	7	8	23	46	0
	9.7%	7.5%	7.4%	5.3%	5.8%	9.7%	14.2%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



〈調査結果〉

集約型都市構造（コンパクトシティ）の推進については、全年代とも「進んでいない」の割合が多い結果となり、「進んでいない」の理由の多くは「中心市街地の賑わいが喪失しているから」という回答が大半を占めていました。今後も進む人口減少・高齢化社会においては、多極ネットワーク型のコンパクトシティが重要であることから、今後作成する立地適正化計画*において、有効施策を十分に検討する必要があると考えます。

*立地適正化計画とは、都市計画区域内の住宅及び都市機能増進施設（医療施設、福祉施設、商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設）の立地の適正化を図るための計画。

設問 3 - 2

設問 3 - 1 で、「2 進んでいない」と回答した方にお聴きします。なぜそう思うのですか？

【進んでいないと思う理由】 ※お寄せいただきました意見を抜粋しています

・ 中心市街地の賑わいが喪失しているから。
・ 施設が街中から郊外に移転しているから。 ・ 老人施設が街中から郊外に移転。
・ 若い人がどんどん都会に出て行って地元に残っているのは高齢者になっている。
・ 役所関係は徒歩で行けるが、それ以外は車で移動するくらい離れているから。
・ むしろコンパクトシティと逆行しているように感じるから。
・ 昔からの商店街や住宅地が分散、点在している地域なので集約型都市構造の推進が難しいように感じる。また、行政が行おうとしているプランの全体像が地域住民に伝わっていない、理解されていないように思う。
・ 水沢駅やメイプル周辺より郊外に商業施設があり車移動には良いが J R、バス利用者には不便。
・ 水沢駅前通りの賑わいが無い。
・ 水沢、江刺、前沢とバラバラに発展している。
・ 街中よりも郊外の方が賑わっているから。
・ 古く使っていない住宅が残ったまま。シャッター店舗も街内にそのままになっている。
・ 人が減り空き家になり家も壊される→真逆の方向計画がチョコチョコ。思い切った撤退は必要→人口 8 千万時代を視野にして。大量移民の導入。
・ 道路、水道、下水道などの公共施設を維持するためにもこの施策は大切であるが、誘導策があまりなく進んでいない。
・ 店舗等減る一方に感じる。住民も増えない。
・ 活性化、将来への希望というか街づくりの具体的なプランが足りないから。
・ 新規参入企業の誘致も進んでなく、拠点への都市機能の充実が図られていない。
・ 商業施設が分散している所が見える。また、農振地域といいながら商業施設が建設されている。
・ 市街地の空洞化が激しい。1 箇所の施設から違う場所への移動の距離がありすぎる。
・ 公共施設も 商工業施設も新設や移転が多く土地利用（再生）がされていない。その為、施設が分散しており、集約した構成になっていない。
・ 旧村単位の公共施設の効率化検討が遅すぎる。中心部だけ集中でなく特色を持った整備計画を考える必要がある。
・ 核がない。核になる場所、通りすがりの街というイメージが以前からある。～に行くという目的意識のない街。つまらない。
・ 奥州市は広いのでコンパクトシティにするのは難しいと思うから
・ 奥州市の中心市街地をどこに位置付けし人流を呼び込もうとしているのか。旧市町村のなごりをそのまま持続しているだけのように感じるから
・ 空き家（壊れ）や空き地（草）が増加し目立っている。
・ 「拠点」の定義が不明、何を指しているのか、都市計画は都市以外、とりわけ農との調和が必要と思うがそれぞれバラバラな感がする。

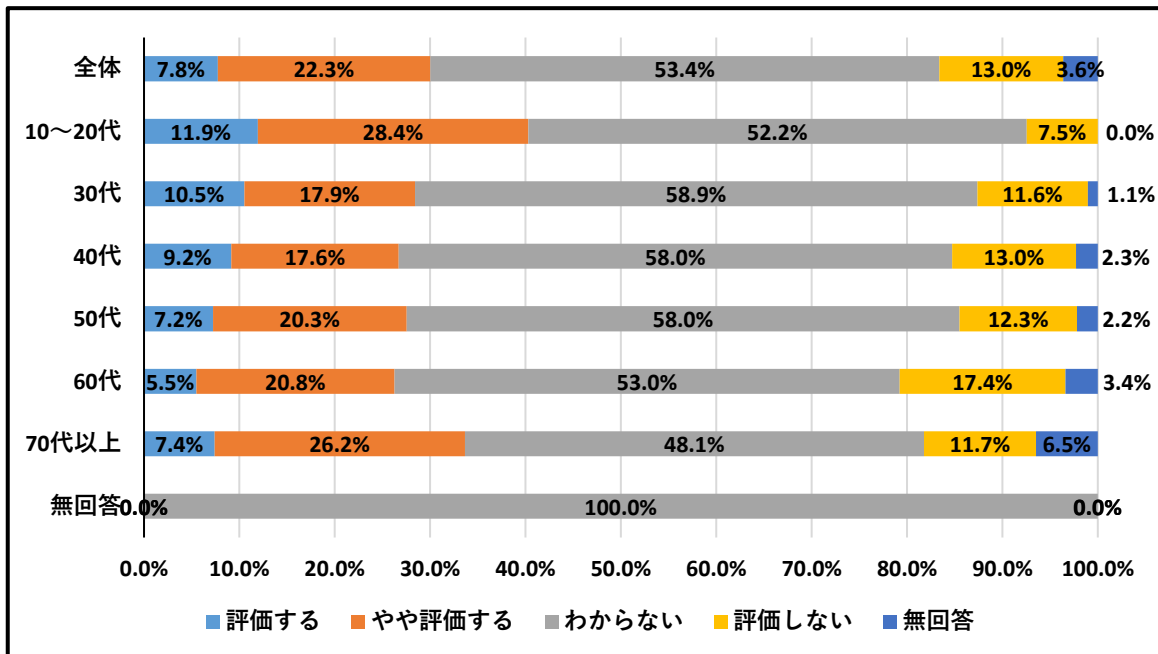
(4) 設問4 都市計画マスタープランに基づき実施してきた取組に対する評価

都市計画マスタープランに基づき実施してきましたこれまでの各種取組について、あなたのお考えをそれぞれの項目ごとに1～4のうち1つ選んで○を付けてください。

〔①土地利用〕

一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を行うため水沢、江刺、前沢の3つの都市計画区域の統合を行った。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	77 7.8%	8 11.9%	10 10.5%	12 9.2%	10 7.2%	13 5.5%	24 7.4%	0 0.0%
やや評価する	221 22.3%	19 28.4%	17 17.9%	23 17.6%	28 20.3%	49 20.8%	85 26.2%	0 0.0%
わからない	530 53.4%	35 52.2%	56 58.9%	76 58.0%	80 58.0%	125 53.0%	156 48.1%	2 100.0%
評価しない	129 13.0%	5 7.5%	11 11.6%	17 13.0%	17 12.3%	41 17.4%	38 11.7%	0 0.0%
無回答	36 3.6%	0 0.0%	1 1.1%	3 2.3%	3 2.2%	8 3.4%	21 6.5%	0 0.0%
合計	993 100.0%	67 100.0%	95 100.0%	131 100.0%	138 100.0%	236 100.0%	324 100.0%	2 100.0%



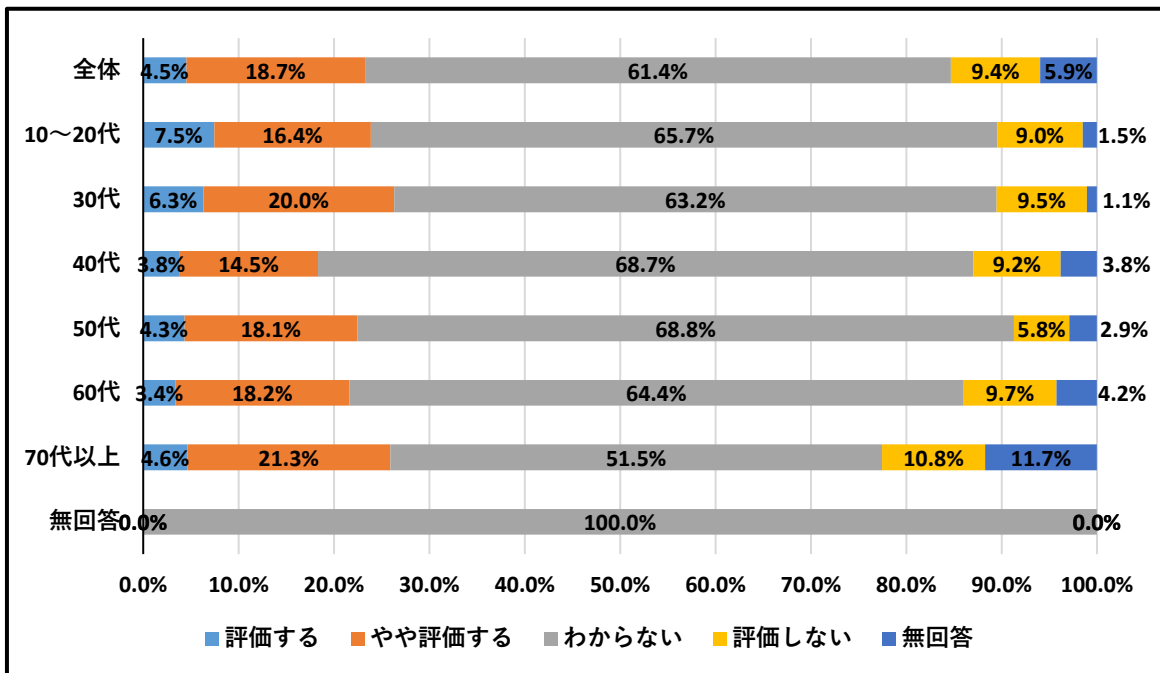
〈調査結果〉

全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答が過半数を占める結果となりました。

ソフト施策はハード施策より分かりづらい傾向にあるので、取組状況について積極的な情報発信に努めます。

適切な土地利用や建物立地の規制・誘導を行うため、将来を見据えた都市計画用途地域の変更を行った。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	45	5	6	5	6	8	15	0
	4.5%	7.5%	6.3%	3.8%	4.3%	3.4%	4.6%	0.0%
やや評価する	186	11	19	19	25	43	69	0
	18.7%	16.4%	20.0%	14.5%	18.1%	18.2%	21.3%	0.0%
わからない	610	44	60	90	95	152	167	2
	61.4%	65.7%	63.2%	68.7%	68.8%	64.4%	51.5%	100.0%
評価しない	93	6	9	12	8	23	35	0
	9.4%	9.0%	9.5%	9.2%	5.8%	9.7%	10.8%	0.0%
無回答	59	1	1	5	4	10	38	0
	5.9%	1.5%	1.1%	3.8%	2.9%	4.2%	11.7%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



〈調査結果〉

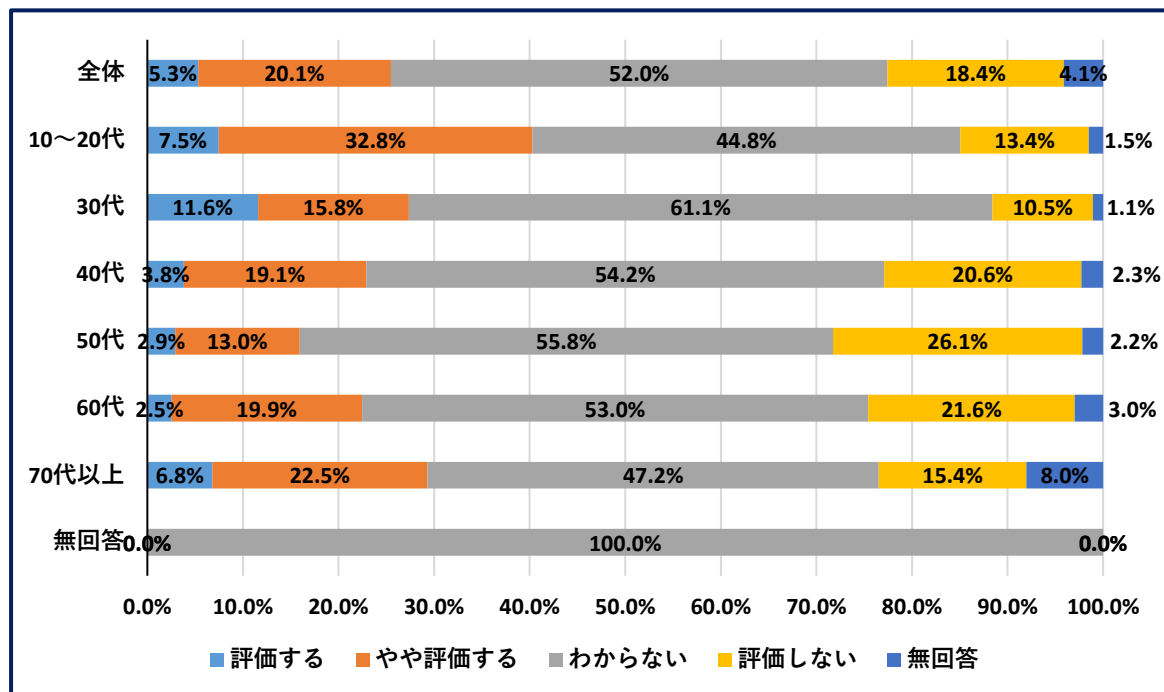
全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答が過半数を占める結果となりました。

ソフト施策はハード施策より分かりづらい傾向にあるので、取組状況について積極的な情報発信に努めます。

〔②賑わいづくり〕

都市拠点の賑わい創出に向け、中心市街地活性化基本計画などの各種計画を策定し環境整備等を進めている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	53	5	11	5	4	6	22	0
	5.3%	7.5%	11.6%	3.8%	2.9%	2.5%	6.8%	0.0%
やや評価する	200	22	15	25	18	47	73	0
	20.1%	32.8%	15.8%	19.1%	13.0%	19.9%	22.5%	0.0%
わからない	516	30	58	71	77	125	153	2
	52.0%	44.8%	61.1%	54.2%	55.8%	53.0%	47.2%	100.0%
評価しない	183	9	10	27	36	51	50	0
	18.4%	13.4%	10.5%	20.6%	26.1%	21.6%	15.4%	0.0%
無回答	41	1	1	3	3	7	26	0
	4.1%	1.5%	1.1%	2.3%	2.2%	3.0%	8.0%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



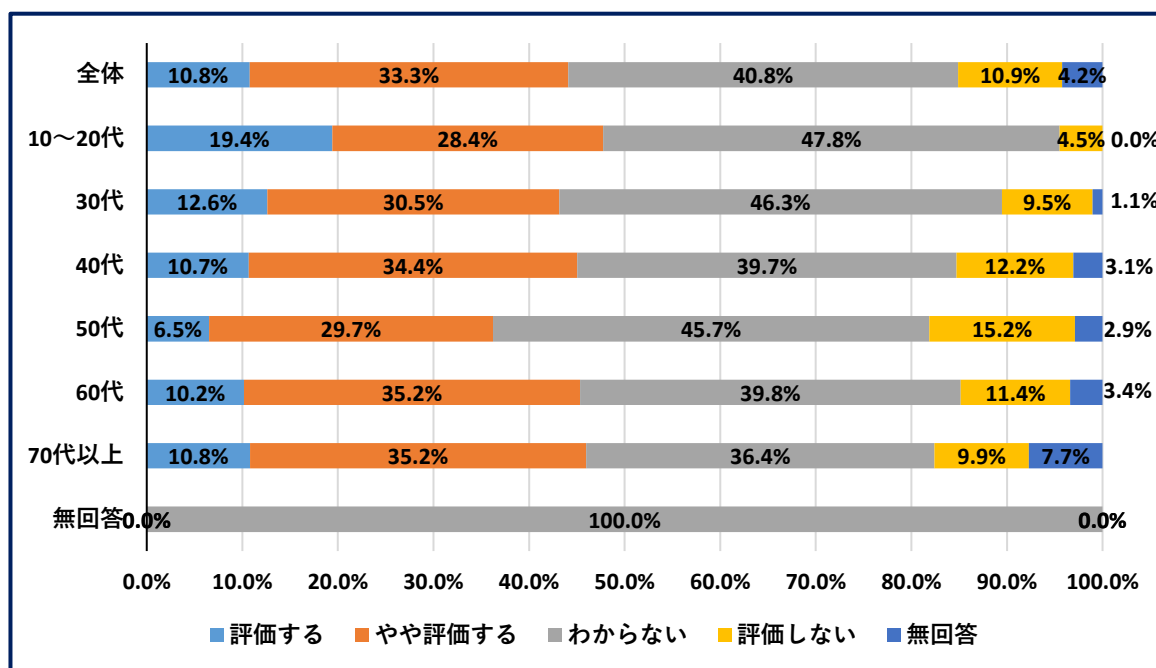
〈調査結果〉

10代～20代、30代、70代については、一定の評価を得ているもの、40代、50代、60代からは、「評価しない」という回答も多い結果となりました。

集約型都市構造（コンパクトシティ）の推進の調査にもあったように、「中心市街地の賑わいの喪失」を感じていると思われることから、今後作成する立地適正化計画において、まちなかの賑わい創出に向けた有効施策を十分に検討する必要があると考えます。

平泉文化遺産である白鳥館遺跡及び長者ヶ原廃寺跡の環境整備を行い観光拠点としての魅力向上を図っている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	107 10.8%	13 19.4%	12 12.6%	14 10.7%	9 6.5%	24 10.2%	35 10.8%	0 0.0%
やや評価する	331 33.3%	19 28.4%	29 30.5%	45 34.4%	41 29.7%	83 35.2%	114 35.2%	0 0.0%
わからない	405 40.8%	32 47.8%	44 46.3%	52 39.7%	63 45.7%	94 39.8%	118 36.4%	2 100.0%
評価しない	108 10.9%	3 4.5%	9 9.5%	16 12.2%	21 15.2%	27 11.4%	32 9.9%	0 0.0%
無回答	42 4.2%	0 0.0%	1 1.1%	4 3.1%	4 2.9%	8 3.4%	25 7.7%	0 0.0%
合計	993 100.0%	67 100.0%	95 100.0%	131 100.0%	138 100.0%	236 100.0%	324 100.0%	2 100.0%



〈調査結果〉

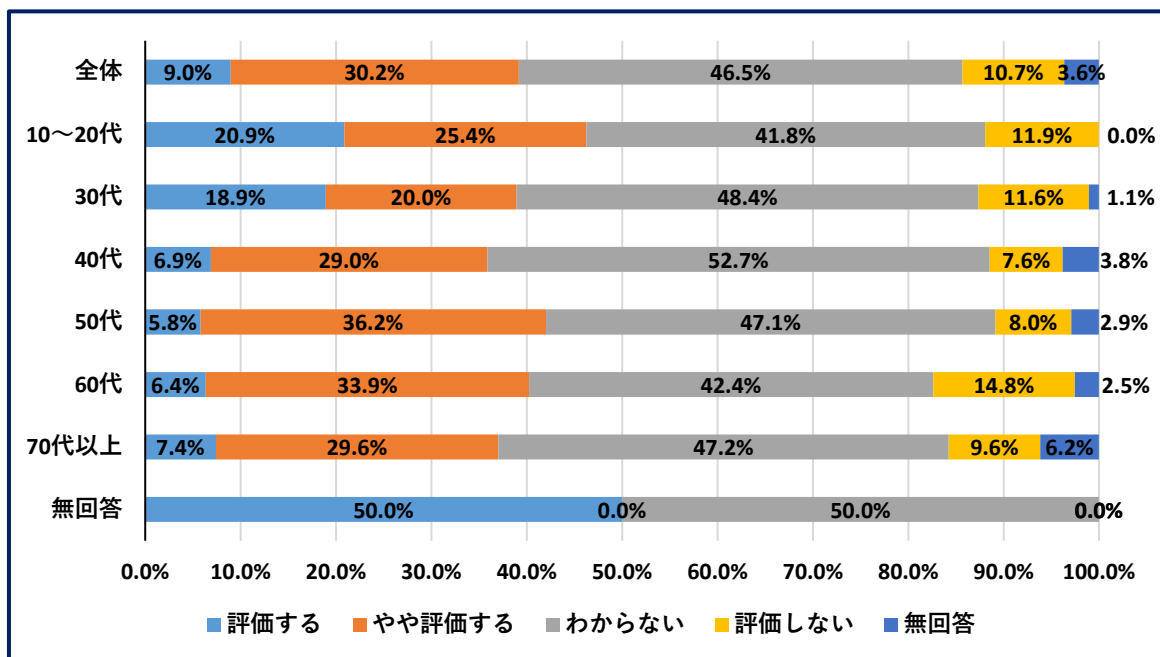
全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答も多い結果となりました。

ソフト施策はハード施策より分かりづらい傾向にあるので、取組状況について積極的な情報発信に努めます。

〔③バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり〕

国や県のバリアフリー、ユニバーサルデザインのガイドラインに基づき、ひとにやさしい施設整備を行っている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	89 9.0%	14 20.9%	18 18.9%	9 6.9%	8 5.8%	15 6.4%	24 7.4%	1 50.0%
やや評価する	300 30.2%	17 25.4%	19 20.0%	38 29.0%	50 36.2%	80 33.9%	96 29.6%	0 0.0%
わからない	462 46.5%	28 41.8%	46 48.4%	69 52.7%	65 47.1%	100 42.4%	153 47.2%	1 50.0%
評価しない	106 10.7%	8 11.9%	11 11.6%	10 7.6%	11 8.0%	35 14.8%	31 9.6%	0 0.0%
無回答	36 3.6%	0 0.0%	1 1.1%	5 3.8%	4 2.9%	6 2.5%	20 6.2%	0 0.0%
合計	993 100.0%	67 100.0%	95 100.0%	131 100.0%	138 100.0%	236 100.0%	324 100.0%	2 100.0%



〈調査結果〉

全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答も多い結果となりました。

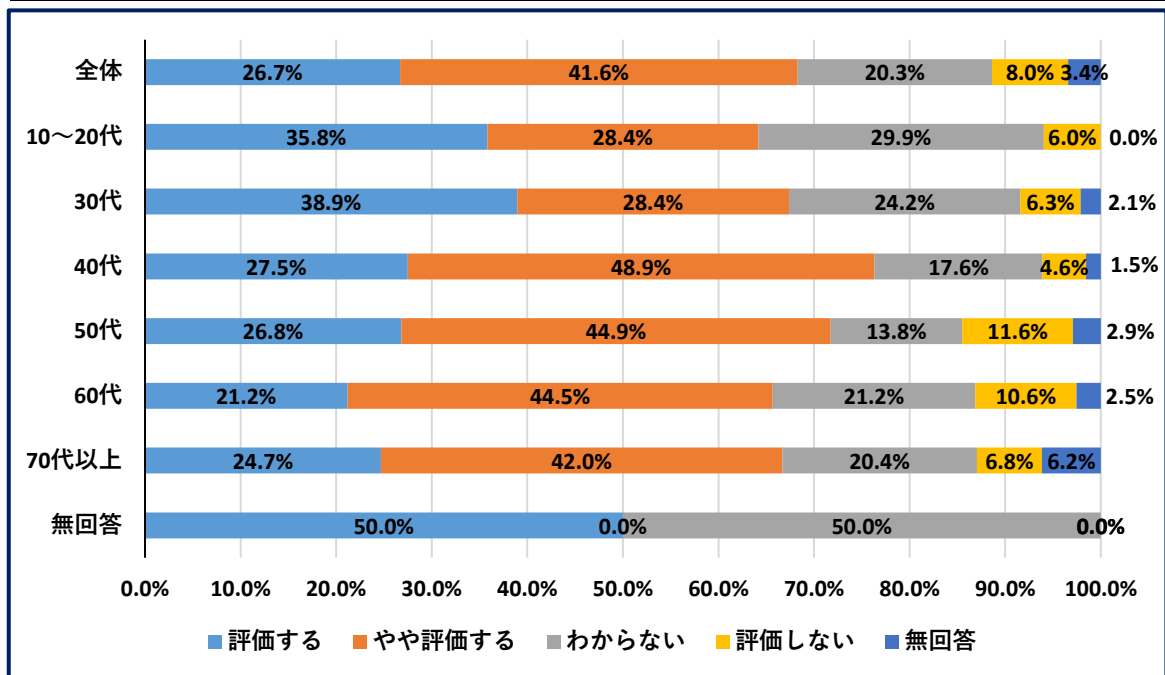
今後も、子どもからお年寄りまで、障がいの有無や男女の別なく、また海外からの移住者や来訪者等も含め、誰にもやさしく、住みやすく、活動しやすい、バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。

また、ソフト施策はハード施策より分かりづらい傾向にあるので、取組状況について積極的な情報発信に努めます。

〔④道路・交通システム〕

道路ネットワーク再構築のため、長期未整備の都市計画道路の計画見直しを行ったほか、水沢駅周辺の東西市街地の連携強化を図るため、鉄道横断道路（橋りょう）の整備を行った。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	265	24	37	36	37	50	80	1
	26.7%	35.8%	38.9%	27.5%	26.8%	21.2%	24.7%	50.0%
やや評価する	413	19	27	64	62	105	136	0
	41.6%	28.4%	28.4%	48.9%	44.9%	44.5%	42.0%	0.0%
わからない	202	20	23	23	19	50	66	1
	20.3%	29.9%	24.2%	17.6%	13.8%	21.2%	20.4%	50.0%
評価しない	79	4	6	6	16	25	22	0
	8.0%	6.0%	6.3%	4.6%	11.6%	10.6%	6.8%	0.0%
無回答	34	0	2	2	4	6	20	0
	3.4%	0.0%	2.1%	1.5%	2.9%	2.5%	6.2%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



〈調査結果〉

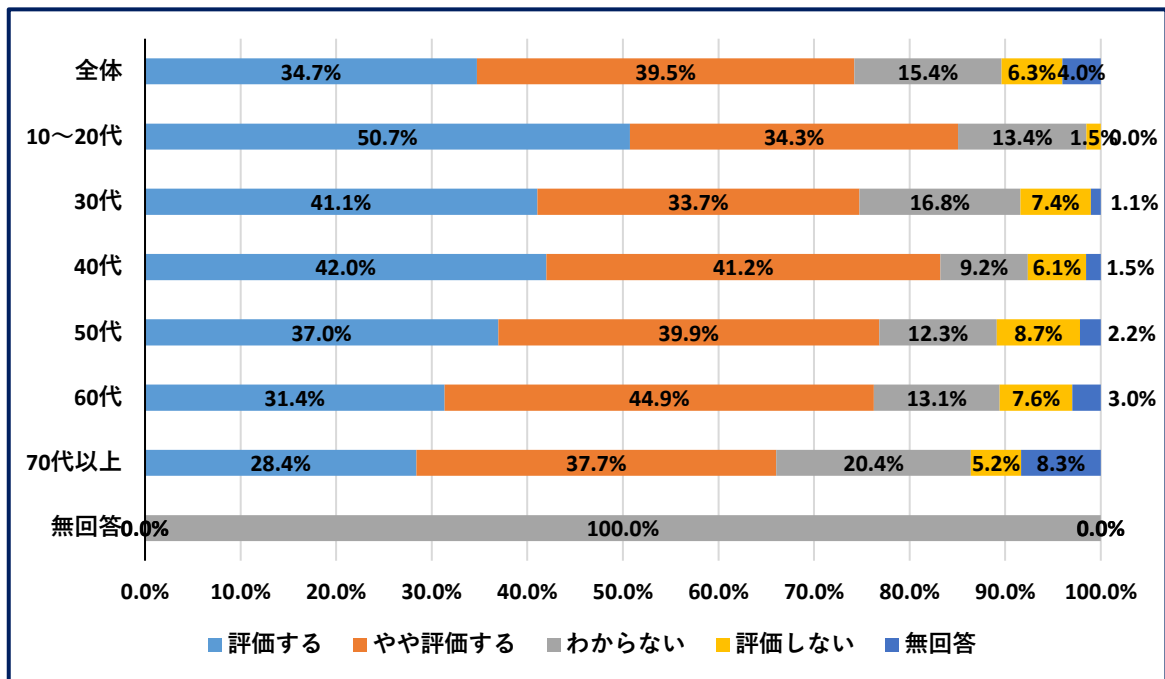
全年代を通して「評価する」とした回答が多い結果となりました。

今後も各種調査結果を踏まえながら都市計画道路の配置、構造等の検証を行うとともに、道路整備計画に基づき必要路線の整備を進めます。

また、取組状況についても、積極的な情報発信に努めます。

高速道路の有効活用や広域ネットワークの形成を図るため、奥州スマートインターチェンジの整備を行った。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	345	34	39	55	51	74	92	0
	34.7%	50.7%	41.1%	42.0%	37.0%	31.4%	28.4%	0.0%
やや評価する	392	23	32	54	55	106	122	0
	39.5%	34.3%	33.7%	41.2%	39.9%	44.9%	37.7%	0.0%
わからない	153	9	16	12	17	31	66	2
	15.4%	13.4%	16.8%	9.2%	12.3%	13.1%	20.4%	100.0%
評価しない	63	1	7	8	12	18	17	0
	6.3%	1.5%	7.4%	6.1%	8.7%	7.6%	5.2%	0.0%
無回答	40	0	1	2	3	7	27	0
	4.0%	0.0%	1.1%	1.5%	2.2%	3.0%	8.3%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



〈調査結果〉

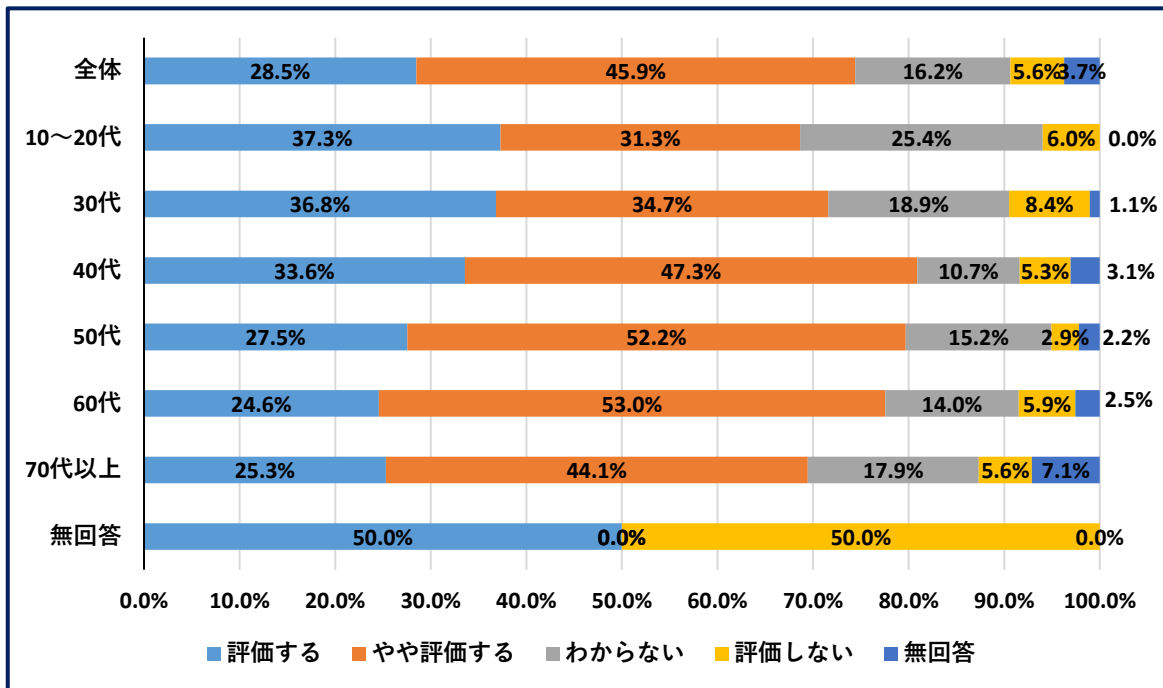
全年代を通して「評価する」とした回答が多い結果となりました。

今後も奥州スマートインターチェンジの整備効果の発現のため、利用促進に向けた各種施策を展開していきます。

また、取組状況についても、積極的な情報発信に努めます。

国道4号水沢東バイパスなどの幹線道路の早期整備や国県道の渋滞区間の混雑緩和に向けた取組みを行っている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	283	25	35	44	38	58	82	1
	28.5%	37.3%	36.8%	33.6%	27.5%	24.6%	25.3%	50.0%
やや評価する	456	21	33	62	72	125	143	0
	45.9%	31.3%	34.7%	47.3%	52.2%	53.0%	44.1%	0.0%
わからない	161	17	18	14	21	33	58	0
	16.2%	25.4%	18.9%	10.7%	15.2%	14.0%	17.9%	0.0%
評価しない	56	4	8	7	4	14	18	1
	5.6%	6.0%	8.4%	5.3%	2.9%	5.9%	5.6%	50.0%
無回答	37	0	1	4	3	6	23	0
	3.7%	0.0%	1.1%	3.1%	2.2%	2.5%	7.1%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



〈調査結果〉

全年代を通して「評価する」とした回答が多い結果となりました。

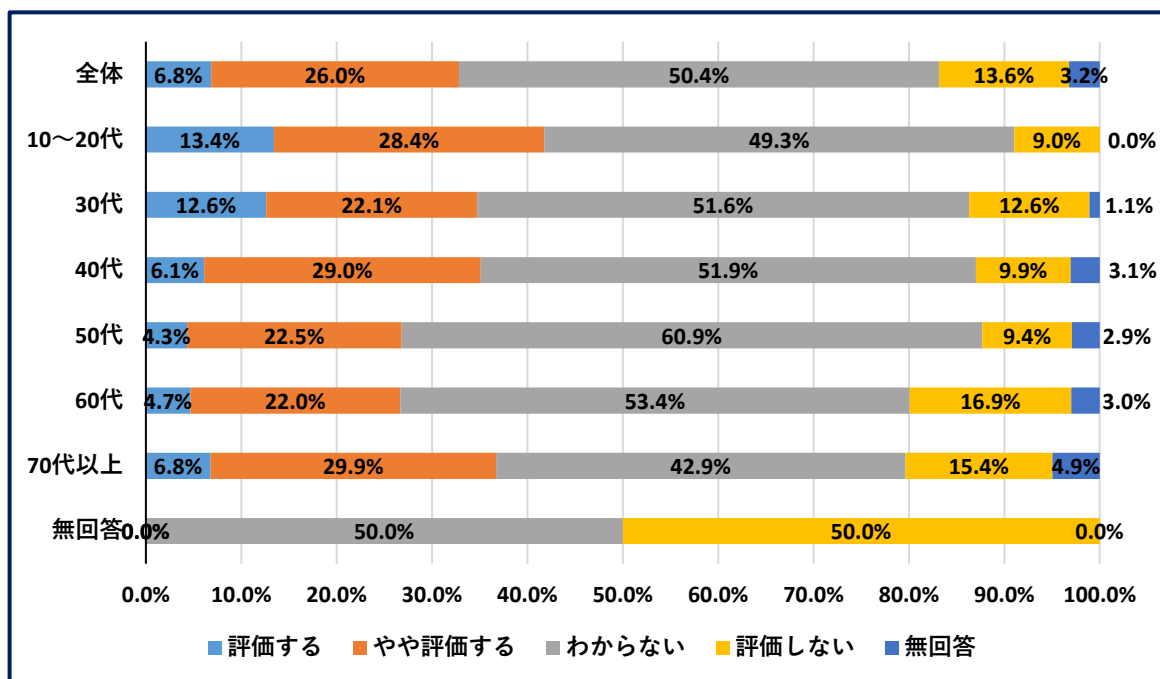
今後も国や県などの関係機関との連携を図り、国道4号水沢東バイパスの全線開通や渋滞箇所の緩和に向けた取組を進めます。

また、取組状況についても、積極的な情報発信に努めます。

〔⑤自然環境の保全及び活用、景観形成、公園緑地の整備〕

地域の特色ある良好な景観を保全するため景観計画を策定し、魅力あるまちづくりを行っている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	68	9	12	8	6	11	22	0
	6.8%	13.4%	12.6%	6.1%	4.3%	4.7%	6.8%	0.0%
やや評価する	258	19	21	38	31	52	97	0
	26.0%	28.4%	22.1%	29.0%	22.5%	22.0%	29.9%	0.0%
わからない	500	33	49	68	84	126	139	1
	50.4%	49.3%	51.6%	51.9%	60.9%	53.4%	42.9%	50.0%
評価しない	135	6	12	13	13	40	50	1
	13.6%	9.0%	12.6%	9.9%	9.4%	16.9%	15.4%	50.0%
無回答	32	0	1	4	4	7	16	0
	3.2%	0.0%	1.1%	3.1%	2.9%	3.0%	4.9%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



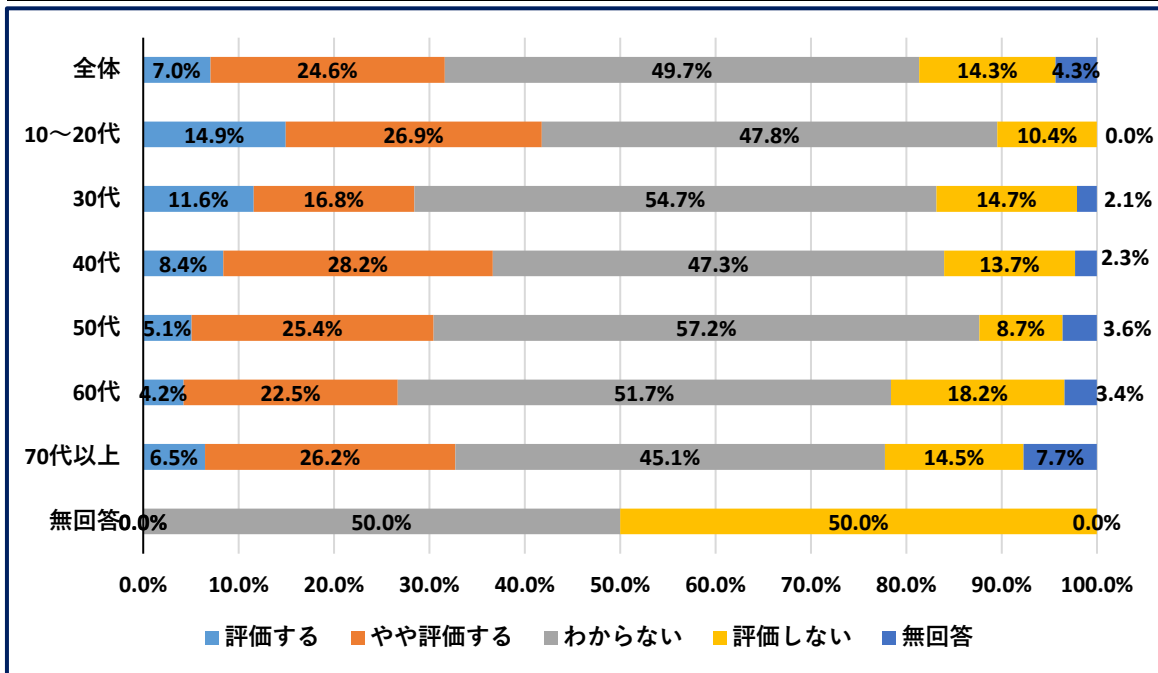
〈調査結果〉

全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答が過半数を占める結果となりました。

ソフト施策はハード施策より分かりづらい傾向にあるので、取組状況について積極的な情報発信に努めます。

公園施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理・改修を行っている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	70 7.0%	10 14.9%	11 11.6%	11 8.4%	7 5.1%	10 4.2%	21 6.5%	0 0.0%
やや評価する	244 24.6%	18 26.9%	16 16.8%	37 28.2%	35 25.4%	53 22.5%	85 26.2%	0 0.0%
わからない	494 49.7%	32 47.8%	52 54.7%	62 47.3%	79 57.2%	122 51.7%	146 45.1%	1 50.0%
評価しない	142 14.3%	7 10.4%	14 14.7%	18 13.7%	12 8.7%	43 18.2%	47 14.5%	1 50.0%
無回答	43 4.3%	0 0.0%	2 2.1%	3 2.3%	5 3.6%	8 3.4%	25 7.7%	0 0.0%
合計	993 100.0%	67 100.0%	95 100.0%	131 100.0%	138 100.0%	236 100.0%	324 100.0%	2 100.0%



〈調査結果〉

全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答も多い結果となりました。

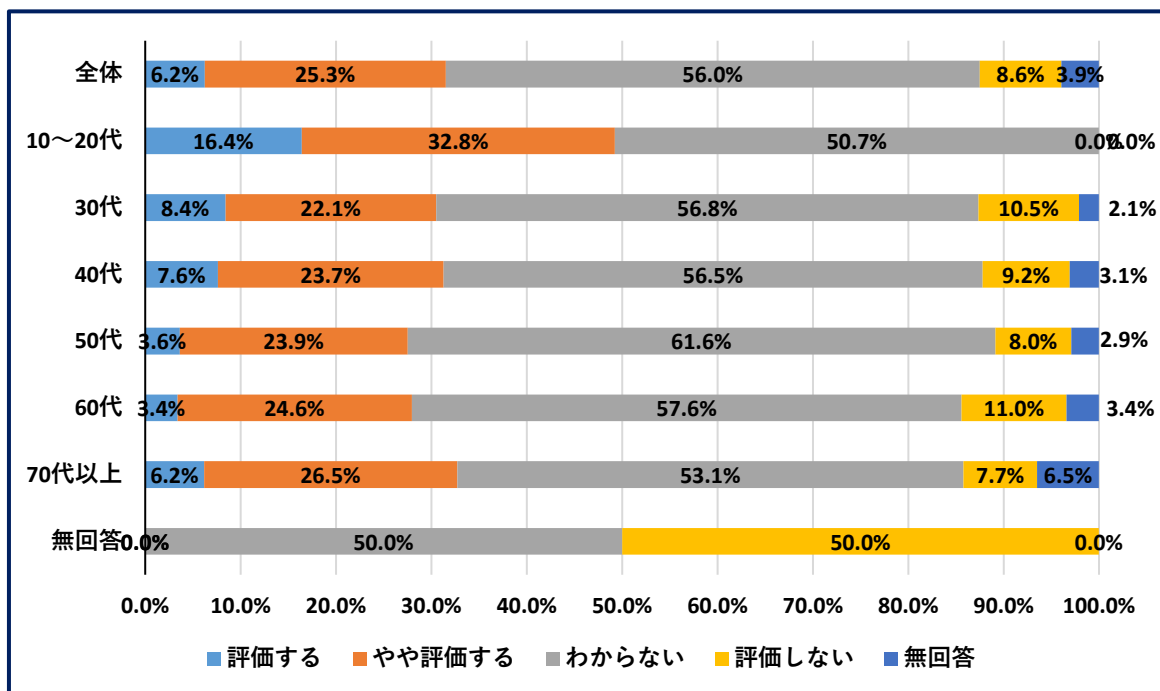
公園は、主として自然的環境の中で、不特定多数の都市住民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等のレクリエーション利用や災害時の避難等の用に供するなど多様な機能を担う公共空地であり、快適な都市生活の確保、都市環境の整備・改善等に資する都市構成上の基盤施設であることから、今後も長寿命化計画に基づき適正な維持管理に努めるとともに、老朽化した施設の改修等を進め利用を促進したいと考えます。

また、今後は取組状況についても、積極的な情報発信に努めます。

〔⑥住宅・宅地の供給、生活基盤施設の整備〕

良好な住宅・宅地を供給するために住生活基本計画を策定し、計画的かつ効率的に住宅施策を進めている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	62	11	8	10	5	8	20	0
	6.2%	16.4%	8.4%	7.6%	3.6%	3.4%	6.2%	0.0%
やや評価する	251	22	21	31	33	58	86	0
	25.3%	32.8%	22.1%	23.7%	23.9%	24.6%	26.5%	0.0%
わからない	556	34	54	74	85	136	172	1
	56.0%	50.7%	56.8%	56.5%	61.6%	57.6%	53.1%	50.0%
評価しない	85	0	10	12	11	26	25	1
	8.6%	0.0%	10.5%	9.2%	8.0%	11.0%	7.7%	50.0%
無回答	39	0	2	4	4	8	21	0
	3.9%	0.0%	2.1%	3.1%	2.9%	3.4%	6.5%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



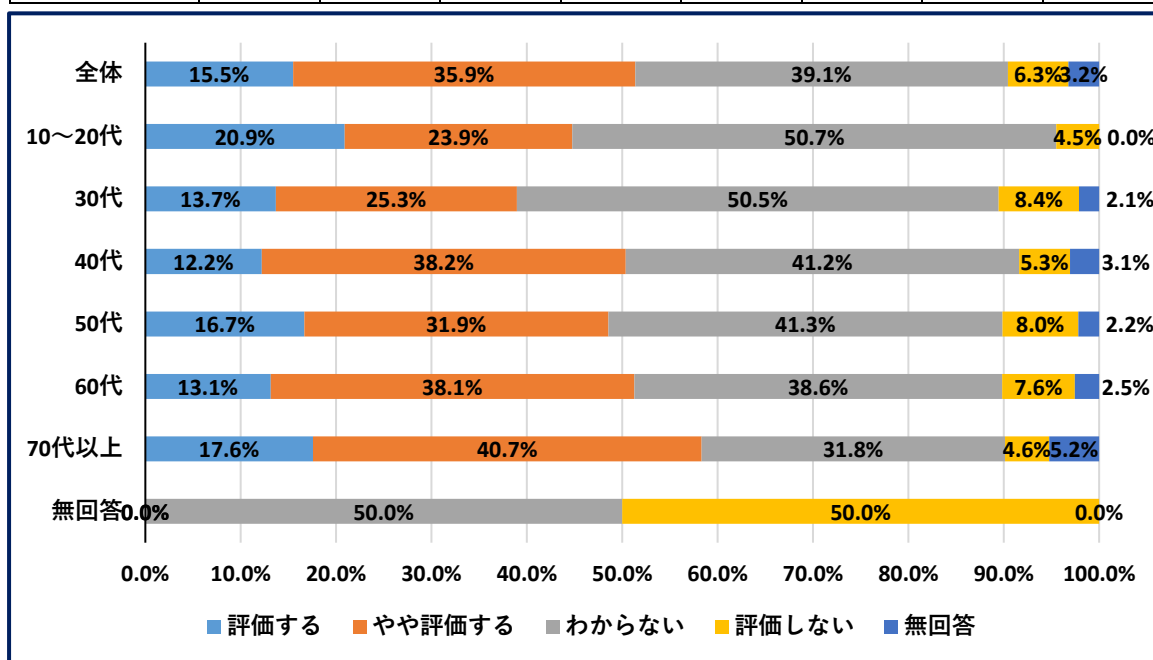
〈調査結果〉

全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答が過半数を占める結果となりました。

ソフト施策はハード施策より分かりづらい傾向にあるので、取組状況について積極的な情報発信に努めます。

公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全を図るため、汚水処理基本計画を策定し良好な居住環境の形成を進めている。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
評価する	154	14	13	16	23	31	57	0
	15.5%	20.9%	13.7%	12.2%	16.7%	13.1%	17.6%	0.0%
やや評価する	356	16	24	50	44	90	132	0
	35.9%	23.9%	25.3%	38.2%	31.9%	38.1%	40.7%	0.0%
わからない	388	34	48	54	57	91	103	1
	39.1%	50.7%	50.5%	41.2%	41.3%	38.6%	31.8%	50.0%
評価しない	63	3	8	7	11	18	15	1
	6.3%	4.5%	8.4%	5.3%	8.0%	7.6%	4.6%	50.0%
無回答	32	0	2	4	3	6	17	0
	3.2%	0.0%	2.1%	3.1%	2.2%	2.5%	5.2%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



〈調査結果〉

全年代を通して「評価しない」とした回答よりも「評価する」とした回答が多い結果でしたが、「分からない」とした回答も多い結果となりました。

下水道等は、生活環境の改善や水質の保全など都市活動を支える上で必要不可欠な施設であることから、今後も汚水処理基本計画に基づきながら整備を進めるとともに、取組状況についても、積極的な情報発信に努めます。

(5) 設問5 都市防災の強化のための取組について

頻発・激甚化する自然災害に対応するため、安全なまちづくりを総合的に進める必要があります。都市防災の強化のため、どのようなことに取組む必要があると思いますか？次の中から3つまで選んで○を付けてください。

n = 2605

選択肢	全市	年代別回答数						
		10~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
誘導施策等	373	20	36	55	64	92	106	0
	14.3%	10.9%	14.5%	16.5%	17.3%	14.6%	12.6%	0.0%
防災機能強化等	563	46	60	68	89	130	169	1
	21.6%	25.1%	24.1%	20.4%	24.1%	20.7%	20.2%	50.0%
避難路の確保等	451	38	40	66	69	100	138	0
	17.3%	20.8%	16.1%	19.8%	18.6%	15.9%	16.5%	0.0%
狭あい道路整備等	463	40	44	65	57	114	143	0
	17.8%	21.9%	17.7%	19.5%	15.4%	18.1%	17.1%	0.0%
情報設備の整備等	373	23	32	48	54	92	124	0
	14.3%	12.6%	12.9%	14.4%	14.6%	14.6%	14.8%	0.0%
防災意識の向上	303	14	27	20	29	88	124	1
	11.6%	7.7%	10.8%	6.0%	7.8%	14.0%	14.8%	50.0%
その他	49	2	7	8	8	9	15	0
	1.9%	1.1%	2.8%	2.4%	2.2%	1.4%	1.8%	0.0%
無回答	30	0	3	4	0	4	19	0
	1.2%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	0.6%	2.3%	0.0%
合計	2605	183	249	334	370	629	838	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【誘導施策等】：ソフト施策

災害危険箇所などにおける土地利用規制による立地制限や誘導施策の実施

【防災機能強化等】：ハード施策

避難所となる公園、広場などの確保や防災機能の強化

【避難路の確保等】：ハード施策

災害発生時における救急搬送路や避難路の確保（無電柱化など）

【狭あい道路整備等】：ハード施策

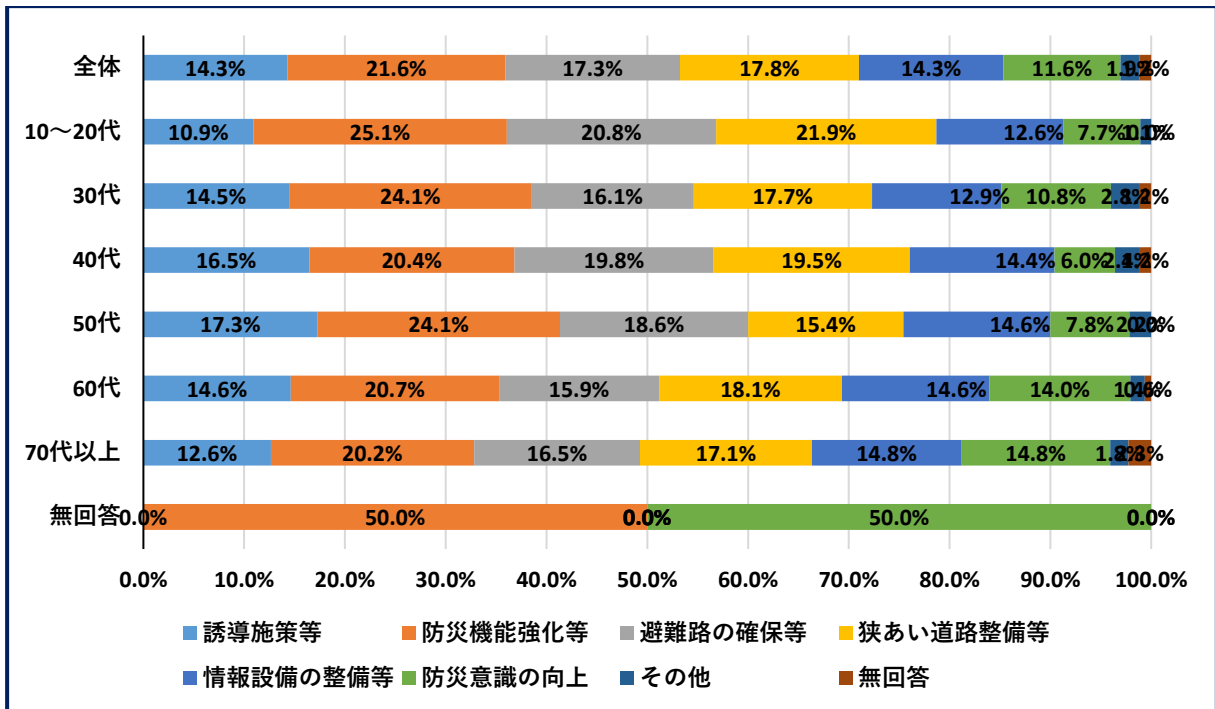
緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消や狭あい道路の拡幅

【情報設備の整備等】：ハード施策

防災関連情報の受発信設備の整備

【防災意識の向上】：ソフト施策

避難訓練や災害講習会の開催など、市民の防災意識の向上

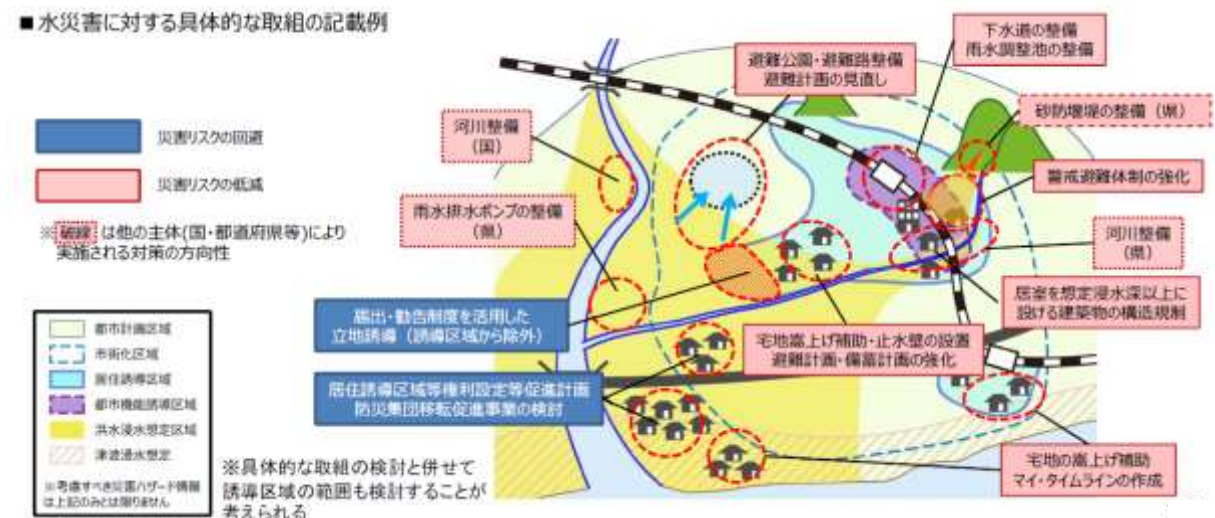


〈調査結果〉

気候変動の影響により近年頻発・激甚化する自然災害に対し持続的に安全な都市を構築していくためには、関係機関や団体等との連携を図り、これまで以上にソフト・ハードの防災対策や災害リスクを踏まえた検討を進めていくことが重要と考えます。

今回のアンケート結果を参考としながら、今後作成する立地適正化計画において、まちづくりにおける総合的な防災・減災対策を検討していくこととします。

【立地適正化計画作成の手引き（国土交通省都市局）より抜粋】

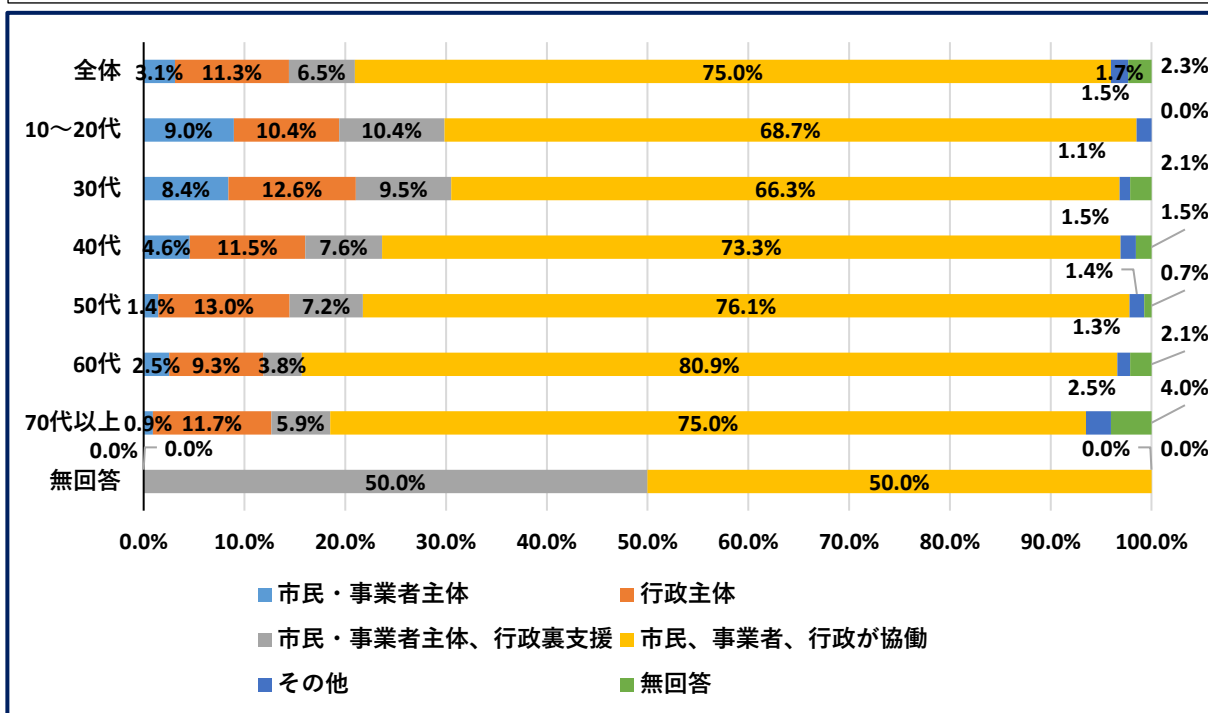


(6) 設問6 市民・事業者・行政の協働による施策の展開について

今後の都市計画・まちづくりや市街地活性化施策などは、どのように行うべきとお考えですか？次の中から1つ選んで○を付けてください。

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
市民・事業者主体	31	6	8	6	2	6	3	0
	3.1%	9.0%	8.4%	4.6%	1.4%	2.5%	0.9%	0.0%
行政主体	112	7	12	15	18	22	38	0
	11.3%	10.4%	12.6%	11.5%	13.0%	9.3%	11.7%	0.0%
市民・事業者主体、行政裏支援	65	7	9	10	10	9	19	1
	6.5%	10.4%	9.5%	7.6%	7.2%	3.8%	5.9%	50.0%
市民・事業者・行政が協働	745	46	63	96	105	191	243	1
	75.0%	68.7%	66.3%	73.3%	76.1%	80.9%	75.0%	50.0%
その他	17	1	1	2	2	3	8	0
	1.7%	1.5%	1.1%	1.5%	1.4%	1.3%	2.5%	0.0%
無回答	23	0	2	2	1	5	13	0
	2.3%	0.0%	2.1%	1.5%	0.7%	2.1%	4.0%	0.0%
合計	993	67	95	131	138	236	324	2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- 市民・事業者主体：市民、事業者が中心となるで行う
- 行政主体：行政が行う
- 市民・事業者主体、行政裏支援：市民、事業者が中心となり、行政は表に出ず裏で支援する
- 市民・事業者・行政が協働：市民、事業者、行政がそれぞれできることを理解し協力し合っていく



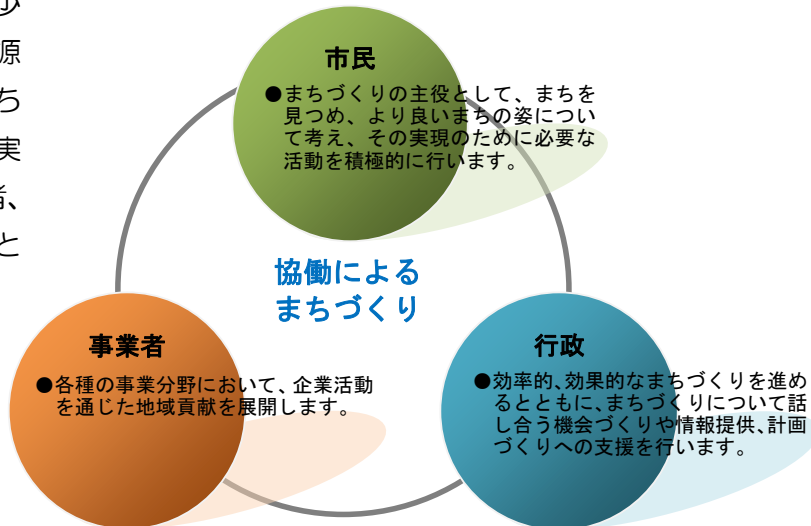
〈調査結果〉

全年代を通して「市民、事業者、行政がそれぞれできることを理解し協力し合っていく」とした回答が多い結果となりました。今後も協働によるまちづくりを推進します。

第8章 8. 2協働によるまちづくりの推進に向けて

◆協働によるまちづくりにおける市民、事業者、行政の役割

今後、少子高齢化や人口減少が進むなか、また限られた財源のなかで効率的、効果的にまちづくりを進め、将来都市像を実現するためには、市民、事業者、行政が協働して取り組むことが重要です。



協働によるまちづくりの推進に向けて、市民や事業者の参加を誘導、支援するため、以下のことを行います。

項目	内容
まちづくりに関する情報発信と意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、ホームページ、パンフレット、イベント等を通じたまちづくり関連情報の発信 ・まちづくりのあり方について議論する機会の創出
まちづくりへの市民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関する各種事業や取り組みへの企画・構想・計画段階からの市民や事業者の参加の積極的な誘導 ・道路や公園の維持・管理、まちの美化活動、農地や森林の保全等への市民や事業者の積極的な参加誘導 ・アダプト制度や指定管理者制度、マッチングファンド方式の活用を検討
まちづくりの組織やリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関する組織やリーダーとなる人材の育成 ・まちづくりのアドバイスを行う専門家の派遣やまちづくり出前講座の開催 ・まちづくり人材バンクの創設、まちづくり組織の活動等の場所の提供
まちづくり活動に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、NPO等による主体的なまちづくり活動の支援 ・新たな助成制度やまちづくり基金の創設等の財政的な支援方策の検討
都市計画提案制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画提案制度に関する情報提供、助言や支援
推進に向けた制度づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信や市民参加の促進の手法、組織や人材育成及び活動に対する支援、都市計画提案制度の活用促進等を位置づけた制度づくり

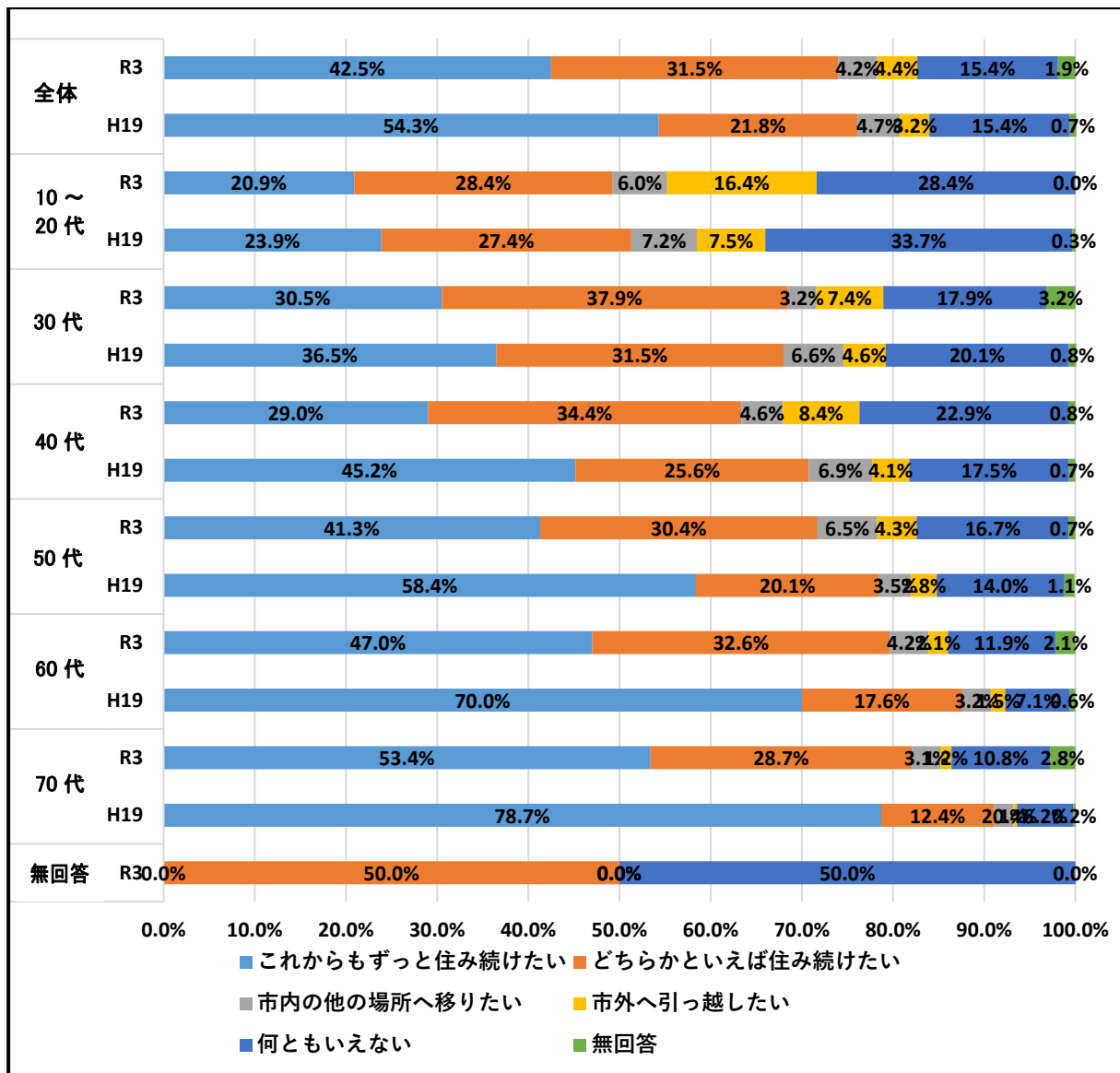
(7) 設問7 奥州市に住み続けたいか

設問7-1

あなたは、これからも今の場所に住み続けたいと思いますか？次の中から1つ選んで○を付けてください。

()内はH19調査結果

選択肢	全市	年代別回答数						
	回答数	10~20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
これからもずっと住み続けたい	422 (1,447)	14 (83)	29 (144)	38 (189)	57 (313)	111 (327)	173 (381)	0 (-)
	42.5% (54.3%)	20.9% (23.9%)	30.5% (36.5%)	29.0% (45.2%)	41.3% (58.4%)	47.0% (70.0%)	53.4% (78.7%)	0.0% (-)
どちらかといえば住み続けたい	313 (581)	19 (95)	36 (124)	45 (107)	42 (108)	77 (82)	93 (60)	1 (-)
	31.5% (21.8%)	28.4% (27.4%)	37.9% (31.5%)	34.4% (25.6%)	30.4% (20.1%)	32.6% (17.6%)	28.7% (12.4%)	50.0% (-)
小計	735 (2,028)	33 (178)	65 (268)	83 (296)	99 (421)	188 (409)	266 (441)	1 (-)
	74.0% (76.1%)	49.3% (51.3%)	68.4% (68.0%)	63.4% (70.8%)	71.7% (78.5%)	79.6% (87.6%)	82.1% (91.1%)	50.0% (-)
市内の他の場所へ移りたい	42 (124)	4 (25)	3 (26)	6 (29)	9 (19)	10 (15)	10 (10)	0 (-)
	4.2% (4.7%)	6.0% (7.2%)	3.2% (6.6%)	4.6% (6.9%)	6.5% (3.5%)	4.2% (3.2%)	3.1% (2.1%)	0.0% (-)
市外へ引っ越したい	44 (85)	11 (26)	7 (18)	11 (17)	6 (15)	5 (7)	4 (2)	0 (-)
	4.4% (3.2%)	16.4% (7.5%)	7.4% (4.6%)	8.4% (4.1%)	4.3% (2.8%)	2.1% (1.5%)	1.2% (0.4%)	0.0% (-)
何ともいえない	153 (410)	19 (117)	17 (79)	30 (73)	23 (75)	28 (33)	35 (30)	1 (-)
	15.4% (15.4%)	28.4% (33.7%)	17.9% (20.1%)	22.9% (17.5%)	16.7% (14.0%)	11.9% (7.1%)	10.8% (6.2%)	50.0% (-)
無回答	19 (18)	0 (1)	3 (3)	1 (3)	1 (6)	5 (3)	9 (1)	0 (-)
	1.9% (0.7%)	0.0% (0.3%)	3.2% (0.8%)	0.8% (0.7%)	0.7% (1.1%)	2.1% (0.6%)	2.8% (0.2%)	0.0% (-)
合計	993 (2,665)	67 (347)	95 (394)	131 (418)	138 (536)	236 (467)	324 (484)	2 (19)



〈調査結果 H19 からの変化〉

選択肢	全市	年代別回答数						
		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
これからもずっと住みたい	↓11.8%	↓3.0%	↓6.0%	↓16.2%	↓17.1%	↓23.0%	↓25.3%	
どちらかといえば住みたい	↑9.7%	↑1.0%	↑6.4%	↑8.8%	↑10.3%	↑15.0%	↑16.3%	
小計	↓2.1%	↓2.0%	↑0.4%	↓7.4%	↓6.8%	↓8.0%	↓9.0%	
市内の他の場所へ移りたい	↓0.5%	↓1.2%	↓3.4%	↓2.3%	↑3.0%	↑1.0%	↑1.0%	
市外へ引っ越したい	↑1.2%	↑8.9%	↑2.8%	↑4.3%	↑1.5%	↑0.6%	↑0.8%	
何ともいえない	0.0%	↓5.3%	↓2.2%	↑5.4%	↑2.7%	↑4.8%	↑4.6%	
無回答	↑1.2%	↓0.3%	↑2.4%	↑0.1%	↓0.4%	↑1.5%	↑2.6%	

設問 7 - 2

設問 7-1 で、「3 市内の他の場所へ移りたい」または「4 市外へ引っ越したい」と回答した方にお聴きします。なぜそう思うのですか？

【選択した理由】 ※お寄せいただきました意見を抜粋しています

○ 〈市内の他の場所へ移りたい〉理由

- ・交通の不便さ。高齢になるにつれ車がないと移動ができなくなる。
- ・今後結婚し子育てをするには手当てが充実していないから。
- ・交通の便が悪くなった。今までバスが通っていたのにバスもなくバスに乗るには今まで以上に歩かなくてはならない。今までのようなバスを走らせてほしい。年をとって買い物にも病院にも行けない。
- ・買物が不便である。自由に出入りできる大きなデパートがない。
- ・奥州市の行政に不満があるから。
- ・病院、店舗、学校など市内（街）に出るのが不便。大雨による川の氾濫のため交通が不便。
- ・河川付近に住んでいる為災害になったとき堤防が決壊しないか心配なため。
- ・小児科や産婦人科が少なすぎる。
- ・市内中心部よりかなり離れていると交通機関が不便で買い物、病院、役所等々何かと不便。料金がかかる。
- ・障害者に対して理解があまりないから。
- ・休日の過ごし方が無い。大型ショッピングセンターや温泉（岩盤浴も）がほしい。（若い人も行けるような）

● 〈市外へ引っ越したい〉理由

- ・まちに活気がない。いまだに旧市町村単位でものごとを考えている。All oshu で考えてほしい（特に年配者）
- ・教育に対する予算があまりにも少なく、未来を感じられない。子、孫の将来を考えれば教育の重要性を理解できる市の方が良い。
- ・医療が充実していないため不安。奥州市にいる意味はないと感じている。今はしかたがなく住んでいるが魅力はない。
- ・奥州市内に勤めたい職場がないから。
- ・魅力を感じない。住みやすさを感じない。
- ・子育てしにくい環境の為。山形と比較し公園等も荒れ果てて放置されている場所が目立つ。
- ・公共交通機関がない→車がなくなると生活できない。小学校がなくなる→人口減。
- ・紫波や矢巾の方が街として整備されており、駅前・中心地の充実した施設が魅力的だから。
- ・行政サービスが欠けている。人口減少等市政に不安がある。
- ・娯楽の少なさ、収入の低さ、労働環境の悪さ（女性の扱い）。
- ・高齢者が多く、昔からの慣習で物事を決めようとする文化になじめない。
- ・公共のプールなど自分のほしい施設がなくなっていくから。
- ・独身の人間が住むには居心地が良くなく市外又は県外の方が魅力を感じる。帰って来るには良い場所だと思う。田舎独特のコミュニティが少し窮屈である。
- ・水害が起りやすい地域で不安を感じるから。
- ・税金が高い割には市民にとってどのように還元されているのか。道路など目に見える形での変化があるところ以外なかなか魅力を感じにくい。

(8) 設問8 都市計画・まちづくりについての意見等（自由記載）

今後の奥州市の都市計画・まちづくりについて、ご意見をお聴かせください。

本アンケート回答者 993 人のうち 308 人（31.0%）の方から今後の奥州市の都市計画・まちづくりに対するご意見やご要望等をいただきました。

お寄せいただいた主なご意見等については次のとおりです。（複数分野に対するご意見等があるため、回答者数と件数の合計は一致しません。）

【意見・要望等】 ※回答の中に複数項目に対するものがあるため、回答者数と件数の合計は一致しません。

項目	分野	件数	分類	件数	主な意見の概要		
市政全般	移住・定住	13	定住	13	若者が定住したいと思う産業、教育、医療、商業の整備		
	行政	3	行政	3	市の財政立て直し		
	コミュニティ	5	地域コミュニティ	5	近所の声かけや心がけを大切に互いに助け合う生活		
	税	4	税金	4	住民税を下げる		
	政策	37	広聴	8	市民の声を反映したまちづくり		
			市政運営	19	住民に配慮した細やかな支援 合併して良かったと思える市政		
			少子化対策	1	少子化対策		
情報発信			9	市民への説明を重点にしたまちづくり			
市民生活	空き家・空き地	5	空き家・空き家	5	空き地・空き家の有効活用・対策		
	居場所	2	居場所	2	若い人達の学習と遊びの場づくり		
	自然	2	自然保護	2	環境にやさしく自然豊かなまちづくり		
	通信	2	インターネット環境	2	フリーWi-Fiの整備		
	防災	4	災害対策	4	自然災害の防止		
					災害への速やかな対応		
	公共施設		運動施設	6	冬期の運動施設の整備		
					公園・プール・体育館等の運動施設の整備		
					施設再編	1	文化ホールや体育館を集約
					施設修繕	1	計画的な施設修繕
交通安全	2	交通安全施設	1	通学路の歩道整備			
				押しボタン式信号の設置見直し			
		道路整備	1	道路の拡張等による安全の確保			
健康福祉	医療	27	医師確保	1	産科医の増		
			病院	26	医療、病院、科目の充実		
	高齢者	4	高齢者施策	4	高齢者（独り暮らし）が困らないまちづくり		
	子育て	16	子育て環境	14	子育て環境の充実		
子育て支援			2	若い子育て世代への支援			
産業経済	イベント・観光	4	イベント	2	お祭りだけでなく定期的に関催できるイベントの開催		
			観光	2	観光資源の集約 観光バスが来やすい工夫		
	企業誘致・雇用	10	企業誘致	5	企業誘致を図り働く場所を増やす		
			雇用	5	若い人が地元で就職し定住するまちづくり		
	商業・遊戯・娯楽施設	21	遊び場	2	小さい子供が安心して遊べる場所の整備		
			キャンプ場	2	魅力的なキャンプ場の整備		

			競馬場	2	競馬場の見直し
			商業・娯楽施設	14	大型商業施設の誘致、集客施設の誘致
			まちの駅	1	「まちの駅」の施設配置の見直し
	農業	3	農業離れ	1	若者の農業離れ
			農地利用	2	休耕田や耕作放棄地の活用
都市整備	都市計画	4	都市計画	4	若い世代が住みたいと思える都市計画
	都市計画マスタープラン	10	都市計画マスタープラン	10	市民が都市計画マスタープランを身近に感じ理解できるよう日頃の活動の中での配慮
	コンパクトシティ	11	コンパクトシティ	11	コンパクトシティを実現し公共施設の投資を減らし持続可能な財政運営
	まちづくり	64	計画	2	過疎の進む地域が増えない計画
			まちづくり	19	各まちの中心に人が集まれるまちづくり
			市街地	23	奥州市の核となる地域づくり
			新幹線駅周辺	2	水沢江刺駅周辺への企業誘致
			郊外	4	過疎地の環境整備
			子ども、高齢者	1	子供達、高齢者に配慮したまちづくり
			地域格差	4	過度な拠点、機能集積とならないよう各地域での住みよい機能配分
			中山間地域	3	中山間地域の整備
			農村地域	4	農村部への移住
			民間事業者連携	1	民間事業者との連携
			リノベーション	1	公民の遊休不動産を生かしたりノベーション等の推進
	景観	6	景観	6	水沢の中心街の景観整備
	公園	19	公園改修	3	公園の遊具の改修
			公園整備	15	大きな公園(アスレチック)の整備
			公園緑化	1	公園などに緑化
	交通(6)	18	公共交通網	4	コンパクトな市街地の形成と農村地域との交通網の検討
			交通機関整備	5	老後安心して住み続けるため公共交通機関の整備
			交通弱者政策	3	高齢者ドライバーに対する安全確認、コミュニティバスやタクシーチケットの配布
			乗合タクシー	1	乗合タクシーや移動マーケットなどを増やして生活を守るための対策
			バス	3	水沢駅と水沢江刺駅の相互アクセスの強化
			JR	2	真城小学校付近に新駅の整備
	上下水道(1)	5	上下水道	5	水道や下水道の整備
	駐車場(1)	3	駐車場	3	水沢駅の駐車場を広くし無料化
	道路	25	道路維持	13	道路の維持補修や除雪作業の強化
			道路整備	12	道路の整備
教育	教育環境	7	学校・教育	4	英会話教育
			大学誘致	3	大学の誘致
その他	ILC	1	ILC	1	ILCの実現
	個人的意見	46	個人意見	46	不便
	現状維持	5	現状維持	5	都市としてのまちづくりを希望しない 田舎暮らしの良さを生かす
	その他	6	その他	6	わからない 特になし
合計	35		86	405	